

基本方針（４）瑞穂町の強みや良さを活用した地域づくり

【現状と課題】

瑞穂町は町内会・自治会への加入率が他自治体に比べて高く、住民同士のつながりや結束力の高さは比較的、維持されています。ふれあいセンターや各コミュニティセンター、高齢者福祉センター寿楽など地域福祉の拠点となる施設も多数整備されています。また、緑を多く残す自然豊かな町でもあります。アンケート調査でも瑞穂町について「自然が豊か」、「環境に恵まれている」といった回答が多数ありました。

また、瑞穂町には四季折々に合わせたイベントがあり、イベントがボランティア活動を始める機会になったり、人と人をつなぐ場にもなっています。近年では農業ボランティア活動も増加し町の産業がボランティア活動の推進にもなっています。

住民同士の結束力の高さと緑あふれる豊かな自然は瑞穂町の「強み」です。町の「弱み」にばかりに着目するのではなく、町の「強み」に着目した地域づくりも必要です。

【今後の取り組み】

①町内会及び自治会活動への支援

町内会・自治会活動はもっとも身近な地域参加や地域活動を行う場です。瑞穂町は町内会・自治会活動が日常的に行われており、住民の地域活動や顔の見える関係が比較的、維持されています。

こうした既存の活動への理解促進を行い、町内会・自治会への加入者の増加に向けた支援を行っていきます。

②自然環境やイベントなど、地域特性を活かした住民参加の推進

ボランティアセンターみずほには、多くのボランティア団体が所属しており自然保護活動を行う団体や公園清掃、植栽を行うボランティア活動も行われています。

今後も瑞穂町の豊かな自然と多数のイベント、農業など町の特色に目をむけながら住民が身近な生活から地域参加が行える機会を増やしていきます。



町内会・自治会役員の方及び
民生委員・児童委員の方との住民懇談会